


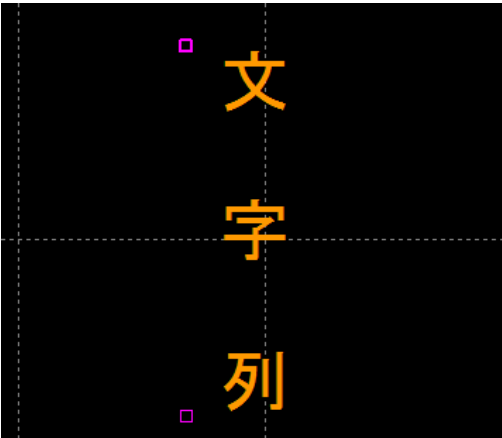
Windows7以前とWindows8以降で文字の描画が異なる現象について

■ 対象商品

- EX-TREND 武蔵 2014 建設CAD、豆図CAD
- EX-TREND 官公庁 2014 建設CAD
- TRENDff Ver9

■ 症状

OSがWindows7以前(7、Vista、XP)のマシンとWindows8以降のマシンでデータのやりとりを行うとき、CADデータの文字の描画(間隔・サイズ)が変化することがあります。

OS	Windows7 以前	Windows8 以降
描画		
サイズ (mm)	5.00	2.86
間隔 (mm)	0.00	3.21

【描画が変化する例】

Windows7以前で入力した文字をWindows8以降で開いた場合
([縦書き]:オン)

■ 原因

建設CAD、TRENDffでは、「文字列全体の高さ」と幅をもとに文字のサイズと間隔を計算しています。「文字列全体の高さ」と幅は、「フォント毎に持つ文字最大幅」を使って計算しています。

Windows8以降では日本語フォントに新たな文字が追加されたことで、「フォント毎に持つ文字最大幅」が大きくなっているため、文字列幅から文字最大幅を使って逆算される文字サイズと間隔が、Windows7以前のマシンの入力値より小さい値となり、描画が異なる状態になっています。

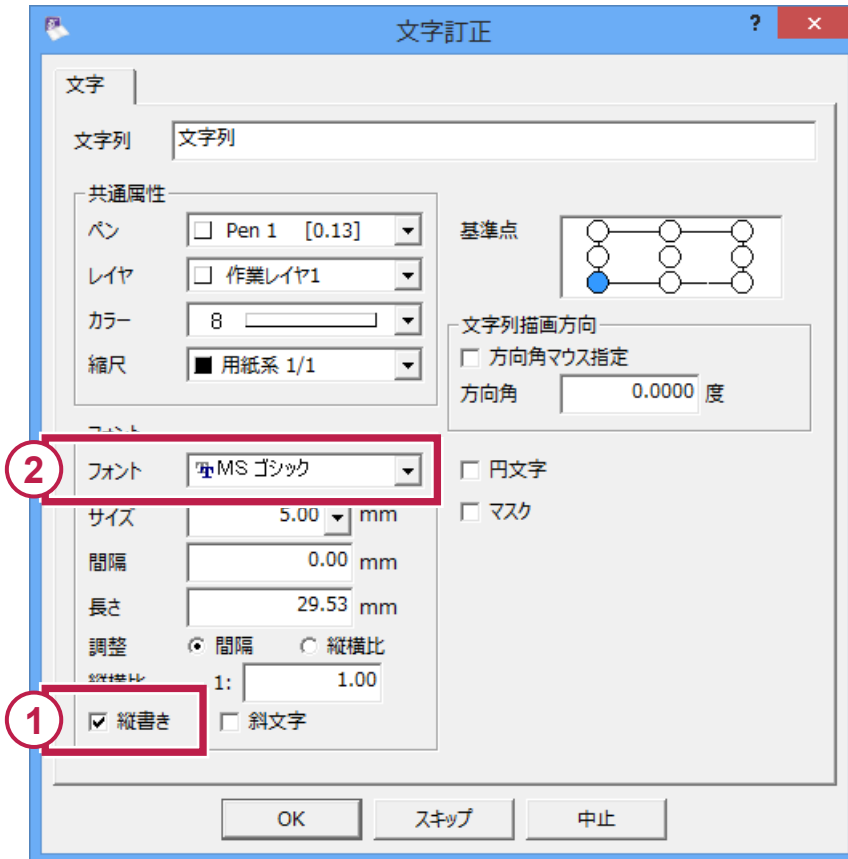
(上記のWindows8の仕様変更に関しては、Microsoftの公式情報として公開されています。

<http://support.microsoft.com/kb/2757148/ja/>)

発生条件

以下の3つの条件を全て満たす場合に発生します。

- ① **[縦書き]がオン**(下図参照)
- ② 日本語フォント (MSゴシック・MS明朝等[縦書きフォント、FCフォントは除く]) (下図参照)
※縦書きフォントとは、フォント名が@で始まるフォントのことです。
- ③ Windows7 (XP、Vista) ⇔ Windows8以降間でデータをやりとり



【文字訂正ダイアログ】

■回避方法

これはWindows8での仕様変更によるため、根本的な解決策は現在のところありません。

回避する場合は、「受け渡し前のCADデータ」と「受け渡し後のCADデータ」に、以下の操作をおこなってください。

「受け渡し前のCADデータ」

①②③のいずれかの操作をおこなってください。

- ① [縦書き]をオフにする。
- ② 縦書きフォントにする。 ※縦書きフォントとは、フォント名が@で始まるフォントのことです。
- ③ [文字編集]－[分解]コマンドで文字列を分解する。

状態	1文字列	1文字ずつに分解
描画		

「受け渡し後のCADデータ」

文字のサイズと間隔を手動で訂正してください。

※サイズ・間隔を訂正しても、保存して別OSのマシンで開くと、描画は再度変わりますのでご注意ください。

■その他の対象商品

- EX-TREND 武蔵 2014 写真管理
- EX-TREND 官公庁 2014 写真管理

アルバム編集で以下の3つの条件を全て満たす場合に発生します。

- ① [縦書き]がオン
- ② 日本語フォント (MSゴシック・MS明朝等 [縦書きフォント、FCフォントは除く])
※縦書きフォントとは、フォント名が@で始まるフォントのことです。
- ③ Windows7 (XP、Vista) ⇔ Windows8 以降間でデータをやりとり

■今後の対応

建設CAD、TREND *ff*、写真管理の次期バージョンでは、Windows のバージョンの違いに関係なく、文字列が同じサイズ・間隔で描画されるように対応いたします。

商品の対応までは、上記の「■回避方法」で対処いただきますよう、よろしくお願いいたします。